



屯倉神社



阿保神社



柴籬神社

令和6年
新春

開運



六社の参拜印で「恵」の強り子が授与されます。

松原六社参りMAP

元旦～1月15日(月)までに参詣

受付時間:9時～17時(元旦のみ0時～)

※強り子と結馬は数に限りがございますので、お早めにお参りください。



阿麻美許曾神社



我堂八幡宮



布忍神社

「みやげしんじょう」 屯倉神社



住所：松原市三宅中4-1-8 ☎072-331-2510
祭神：菅原道真・須佐之男命、毘陀別命（応神天皇）

古墳時代、天皇家の直轄とされた依納屯倉の跡地に創建されたと伝え、屯倉（三宅）の名もこれによる。平安時代の天慶5年(942)に菅原道真を祀ったと言われるが、それ以前は、土師氏（のち菅原氏に改姓）の祖神である天璣日命を祀る穂白の社があった。

本殿には、等身大の菅原道真坐像が安置され、陣羽織形式の頭部は南北朝時代のものである。近世に後禊された体内には元和8年(1622)に書かれた丹生調式や柿経の法華経8巻、舍利2粒が納められている。拝殿前には種日の社で、道真が九州へ左遷の折、同社に立ち寄り座したと言う石が残る。「神形石」と呼ばれ、三宅村の庄屋を務めた妻屋氏が文久2年(1862)に標石を建立している。

本殿北側は、同じく三宅に鎮座した延喜式内社の酒屋神社を合祀している。



ここは必見!

菅原道真が腰を掛けたといわれる「神形石」

「あわしんじょう」 阿保神社



住所：松原市阿保5-4-19 ☎072-331-6153
祭神：菅原道真・阿保親王・市村烏鉾命

平安時代前半、菅原道真が九州大宰府に左遷された折、明守寺(藤井寺)にいた故母の覚弁尼に願いをするた。京都から難波を經て、三宅、阿保の地を通りここで休息したことから、のち同社が建てられたと伝えられる。「阿保」の地名は、平安時代初期、51代平城天皇の皇子であった阿保親王がこの地に居住していたという伝承から付けられ、本殿前には史跡阿保親王住居跡に書ける石碑が建つ。六歌仙のひとつとして有名な在原業平は、親王の5男である。

本殿北側には、殿敷神社と並んで阿保親王を祭神とする親王社が祀られている。拝殿に掛かる「阿保神社」の扁額は、阿保親王の子孫と伝え、源姓を名乗った西阿保村の保田氏が江戸時代末書に書いたものである。また、拝殿天井には48枚もの花井戸がある。本殿裏に立え立つ御神木の大きすの木は、高さ16メートル、幹周4.5メートル、根椋6メートルにも及ぶ市内数本の巨木である。令和3年には、150有余年ぶり大鳥居が建て替えられた。



ここは必見!

花井戸といわれる色紙で飾られた「花井戸(かきす)」

「しばしんじょう」 柴籬神社



住所：松原市上田7-12-22 ☎072-331-2138
祭神：18代反正天皇・依羅権宿禰・菅原道真

5世紀前半、反正天皇が都とされた丹比美羅宮の跡に、5世紀末、24代仁賢天皇が勅命で創建したと伝えられる。「古事記」によると、反正天皇は生まれた時、珠のような美しい歯を持っていて、その瑞雲額と名付けられたとある。また本社とは別に社務所の真向かいには雷神社が祀られ、毎年8月8日の夜8時8分に万燈籠のものと、健康な歯を祈する祭礼が行われる。

江戸時代前半、并西藤鶴は同社に参詣して柴籬宮をむくつてゆか、柴垣の都歌の句を読み、河内鑑名所記(延宝7年、1679年)に載せられている。また、彦根に嘉永7年(1854)8月、立部村氏子26名が奉納した「三十九歌仙」が掛かる。参集殿前には「天満宮 享和元年(1801)九月」と刻した石水鉢が置かれているが、これは全国で5番目に大きな前方後円墳の河内大塚山古墳(西大塚)の石室材と考えられる。



ここは必見!

日本で唯一の歯磨き器で歯に触れると丈夫になるといわれる「雷神」鉢

開運松原六社参りとは

布忍神社・我堂八幡宮・阿麻美許曾神社・屯倉神社・阿保神社・柴籬神社の六社を、お正月の元旦から15日までに参拝する行事です。近年ますます人気を呼び、毎年多くの参拝者が集まるようになっています。

最初にお参りした神社(どの神社からでも始められます)で初穂料を納め、横長の馬場と六社参りMAPを受け取り、すべての神社を回れば、松原に六社の参拝印が集まります。それを持って最初の神社に戻れば、干支の張り子が授けられます。

「あまのしんじょう」 阿麻美許曾神社



住所：大阪市東区吉区矢田7-6-18 ☎072-331-0123
祭神：素戔鳴尊・天兒屋命、事代主命

古くは阿麻羅志の宮ともいい、天美の地名の由来となった古社である。平安時代初期の大同年間(806～809)の創建と伝ええる。10世紀前半には、新年祭にあたって国家から幣帛(供物)をうけることができた由緒長い延喜式内社にも定められた。

境内には、明治の初めまで天見山の山尊を持つ神宮があった。南および東に建つ門は同寺の山門である。拝殿前の一對の柱の台座に「天見山」「阿闍梨快道之代」「文化四年九月」の銘があり、社僧が文化4年(1807)に建立したものである。

手水舎の東側には「行基菩薩安住之地」の石碑が建てられている。江戸時代には、同地に奈良時代の高僧である行基が居住していたという伝承があった。神社北西の大和川に架かる橋を行基大橋と呼ぶのはこのためである。



ここは必見!

「行基菩薩安住之地」石碑

「あしんじょう」 我堂八幡宮



住所：松原市天美我堂4-11-20 ☎072-335-3334
祭神：品別命(応神天皇)

京都の清水八幡宮の分霊を勧請したものと伝え、江戸時代中期ごろは十五社明神と呼ばれていた。明治初年に八幡神社と称した後、大正2年(1913)に産土神社と改め、のち我堂八幡宮の名で現在に至っている。厄災を祓い清める厄除宮としても知られ、毎年2月には厄除けの「湯立神事」が行われる。明治初年まで、現社務所の場所に神宮寺の黄檗宗寺院があった。本尊の阿弥陀如来像は、近くの善正寺(天美我堂)に移されている。

現鳥居が旧来の参道であったが、この鳥居側に6個の力石が置かれている。東我堂村・西我堂村の若者らが試しに使った楕円形の自然石である。いずれにも文字が刻まれ、「明治石 東道中□□□」「金剛石 東道中」「八幡石 西道中」「龍王石 西道中」「力石 東道中」「力石 西道中」とあり、明治時代初期のもと思われる。



ここは必見!

昔、若者がくぐらへていた「力石」

「あしんじょう」 布忍神社



住所：松原市北新町2-4-11 ☎072-334-7634
祭神：須佐佐勇之尊・八重事代主之尊・建瓩雄彦之尊

本殿は大阪府指定文化財の桃山様式を受け継いだ江戸時代初期の一間社流造。齋殿に須佐佐勇之尊の本地仏である薬師如来をあらわす仏尊でみられる梵字(バー)がはめこまれ、神仏混融の形をとるものとして貴重である。また、本殿に使用されている木材には南北朝時代の14世紀後半～15世紀代材が用いられている。

本殿正面に「布忍宮」の扁額が掲げられている。これは宇治(京都府)の真光宗本・万福寺第5世である高業性淵の筆である。本殿自身の両側に描かれている唐獅子は、狩野探幽が描いたと伝えられている。

拝殿には寛永2年(1705)11月13日に奉納された「布忍八幡宮願書」が掲げられており、布忍神社周辺の宮裏木桜、狐村夕陽、野馳春日、平田秋月、南山残雪、西海眺望、竹林黄昏、龍池白鷗の八景をけやきで、1面に2景ずつ4面に納めた。2組つづられ、現存する6面が松原市指定文化財となっている。



ここは必見!

現代アーティストのイチハラヒロコがイラストした「忍みくし」